

令和四年 一・二・三月の詩

念ねん

杉本 深由起すぎもと みゆき

はじめて さかあがりのできたひ  
くるんと まわって みたそらが  
とってもとっても あおかった

——あおぞら記念日きねんび

まだ だれも ふんでいない  
まっしろな ゆきに ポンポンポン  
わたしの あしあと おしたひ

——いちばんのり記念日きねんび

だいじにしていた プラモデル  
うっかりこわした おとうとを  
ぐっとこらえて ゆるしたひ

——おにいちゃん記念日きねんび

すぎゆく今いまを

心こころにきざめば

いつだって なにかの記念日きねんび

「漢字はうたう」あかね書房より

おもいうかんだえやイラストを余白よはくにかいてみましょう。